

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期								
	発生場所	5,6号西ヤードA			2018/11/16	2018/11/16	2018/11/16			
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-033			
G記入欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	木材類	A 03	D A	4 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	2	可燃物その他	A 04	D A	4 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	3	ゴム類	C 01	D A	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	4	ホース類	C 03	D A	4 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
5										
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 搬入数量については、30分以内に完了することを固体廃棄物管理Gと確認済									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0247
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月21日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 11:30	4 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ホース類 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 11:30	4 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015203 - 0001	
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期									
	発生場所	5.6号西ヤードA						2018/11/16	2018/11/16	2018/11/16	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-033
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	木材類			4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
	2	可燃物その他			4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
	3	ゴム類			1 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
	4	ホース類			4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
	5				m <sup>3</sup>						
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 搬入数量については、30分以内に完了することを固体廃棄物管理Gと確認済										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/11/19
廃2018	—	11	—	0248	
調整後保管日時		2018年11月22日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	①	②	①	②						
	1	1	木材類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:30	4 m <sup>3</sup>			1
	2	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:30	1.4 m <sup>3</sup>			1
	4	1	ホース類 (→H)	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:30	1 m <sup>3</sup>			2
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務									
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14北東)					2018/11/12	2018/11/12			
	作業主管G	分析評価グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/9	測定者		測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122		
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	①	②	③								
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
巡回回収場所	GJ-14北東										
予備日	11/22										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0111
				2018/11/12
調整後保管日時		2018年11月21日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:50	4.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務					
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14北東)			2018/11/12	2018/11/12	2018/11/9
	作業主管 G	分析評価グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
	線量測定年月日	2018/11/9	測定者		測定器名	β・γ電離箱	管理番号 F1-ICWBL-122
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の有無
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h 無
	2	紙・ウエス類	A 01	D A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h 無
	3				m <sup>2</sup>		
	4				m <sup>2</sup>		
	5				m <sup>2</sup>		
メ モ	巡回回収場所: GJ-14北東 予備日: 11/22						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0112
				2018/11/12
調整後保管日時		2018年11月21日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:50	2.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:50	3.3 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月15日	(木)	8:00	承認	審査	作成													
	作業件名	土捨場北側土地造成工事																		
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13													
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL															
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	TEL															
線量測定年月日		2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号													
							F1-ICWBL-74													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	大型土嚢	A						04	D	A	5	m <sup>3</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
		2											m <sup>3</sup>							
		3											m <sup>3</sup>							
		4											m <sup>3</sup>							
5						m <sup>3</sup>														
巡回回収場所:GM-06 東																				

受 付 番 号			
高2018	—	11	— 0118
調整後保管日時			2018年11月21日
			8:00
【保管時の指示事項等】			
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	大型土嚢		2	μSv/h				エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:20	4.2	m <sup>3</sup>		1
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月15日	(木)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号				
							F1-ICWBL-74				
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	大型土嚢	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5					m <sup>3</sup>					
メ モ	巡回回収場所:GM-06 東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0119
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		8:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:20	4.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月16日	(金)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74			
G	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	ブルーシート	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
メ モ	巡回回収場所: GM-06 東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0120
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		8:00
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ブルーシート	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	1.4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月16日	(金)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
メモ	巡回回収場所: GM-06 東										

受付番号			
高2018	—	11	— 0121
調整後保管日時			2018年11月21日
			8:30
【保管時の指示事項等】			
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	1.3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月16日	(金)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内 (GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13				
	作業主管 G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	可燃物・その他	A	04	D	B	5 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	巡回回収場所: GM-06 東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0122
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物・その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:30	2.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	βγ用電離箱					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の有無				
	1	可燃物その他	A	04	W	B	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	β+γ 線量率
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
メモ	セメント空袋トンバック 巡回回収場所:GM-28(2回目)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0124
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:10	5.6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015		
作業主管理	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	Bエリア						2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定年月日	2018/11/8	測定者				測定器名	βγ用電離箱		管理番号	E1-ICW-277		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	可燃物その他	A	04	W	B	5 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無		
	2						m <sup>3</sup>					
	3						m <sup>3</sup>					
入 欄	4						m <sup>3</sup>					
	5						m <sup>3</sup>					
	セメント空袋トンパック 巡回回収場所: GM-28 (1回目)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0125
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月22日		8:30
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容									
測定日	2018年11月22日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-158						
2									
3									
4									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	可燃物その他		2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:30	2.1 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	Bエリア			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の有無
1	可燃物その他	A	04	W	B	3 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h
2						m <sup>3</sup>	
3						m <sup>3</sup>	
4						m <sup>3</sup>	
5						m <sup>3</sup>	
メモ	セメント空袋トンバック 巡回回収場所: GM-28(3回目)						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	11	—	0126
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:30	2.1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1~4号機 高レベル放射性滞留水設備運転委託									
	発生場所	Cエリア(高レベル放射性滞留水設備(RO)) (GN-27 西)					2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15		
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/17	測定者		測定器名	ICW( $\beta$ )		管理番号	F1-ICWBL-110		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	空キュービテナー(355ポリ袋入)	A	02	W	A	1 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	キュービテナー梱包段ボール	A	01	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5					m <sup>3</sup>					
	巡回回収場所:GN-27 西										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0130
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	空キュービテナー(355ポリ袋入)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	1.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	キュービテナー梱包段ボール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	2.8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
					06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
					11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
					01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		C	難 燃 物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。														

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 -- 0205

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	ろ過水配管PE管化工事							
	発生場所	ろ過水タンクエリア (構内車輛整備場南側)					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL-5	管理番号	F1-ICWBL-80	
記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A 04	D B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
メ	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
モ	巡回回収場所:標準グリットGS-24GT-24								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0131
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:20	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:20	0.4 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メ									m <sup>2</sup>			
モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月20日	(火)	9:30	承認	審査	作成					
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15					
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL						
	元請会社			担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率					
		①	②	③			β・α 汚染の有無					
	1	ペットボトル	A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無	β+γ 線量率	
	2						m <sup>3</sup>					
	3						m <sup>3</sup>					
	4						m <sup>3</sup>					
	5						m <sup>3</sup>					
メ モ	巡回回収場所:GM-19 北東											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0134
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

計上No.	6010112 - 0001
-------	----------------

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月20日		(火)	10:00		承認		審査		作成						
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務															
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/11/15		2018/11/15		2018/11/15					
	作業主管 G	総務グループ				監理員				TEL							
	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2018/11/14		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		160			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無		β + γ 線量率	
	1	ペットボトル				A 02 D A		5 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h		無			
	2							m <sup>2</sup>									
	3							m <sup>2</sup>									
	4							m <sup>2</sup>									
	5							m <sup>2</sup>									
	巡回回収場所: GM-19 北東																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	11	—	0135	
調整後保管日時		2018年11月20日			2018/11/15 10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h					5	m <sup>3</sup>			
	1	1	ペットボトル							エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00		m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15		
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	160	
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	ビニール類	A .02	D	A	5 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無
	2					m <sup>2</sup>			
	3					m <sup>2</sup>			
	4					m <sup>2</sup>			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0136
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15				
	作業主管 G	総務グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	ビニール類	A	02	D	A	4 m <sup>3</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無	
	2	プラスチック	A	02	D	A	1 m <sup>3</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無	
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	巡回回収場所: GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0137
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:30	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:30	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15		
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
メ モ	線量測定年月日	2018/11/14		測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	160
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	ビニール類			5 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無			
	2				m <sup>2</sup>						
3				m <sup>2</sup>							
4				m <sup>2</sup>							
5				m <sup>2</sup>							
巡回回収場所: GM-19 北東											

  

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/11/15
高2018	—	11	— 0138	
調整後保管日時		2018年11月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

  

線量測定内容									
測定日	2018年11月22日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-158						
2									
3									
4									

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1		ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	160		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ビニール類			A 02 D A	4 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無		
2	ビニール類			A 02 D A	1 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	13 $\mu$ Sv/h	無		
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
巡回回収場所:GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0139
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:30	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	12 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年11月20日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	セシウム吸着塔保管管理								
	発生場所	一時保管施設(第四施設)(GP-22)					2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	①F1-ICW		管理番号	112	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		保管物名	①	②						③
		1 紙、ウエス類	A 01	D						B
		2 プラスチック、ポリ、ビニール類	A 02	D						B
3 可燃物その他	A 04	D	B							
4 難燃物	C 02	D	B							
5										
巡回回収場所:一時保管施設(第四施設)(GP-22)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0140
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	紙、ウエス類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:40	0.2	m <sup>2</sup>			1
2	1	プラスチック、ポリ、ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:40	2	m <sup>2</sup>			1
3	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:40	0.3	m <sup>2</sup>			1
4	1	難燃物	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:40	0.3	m <sup>2</sup>			1
											m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F構内瓦礫保管								
	発生場所	1F構内 油採取・充填所					2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15	
	作業主管G	運営設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-150		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物	A	04	W	B	0.2 m <sup>3</sup>	0.3 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	0.1 m <sup>3</sup>	0.3 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	3	可燃物	A	01	W	B	0.1 m <sup>3</sup>	0.3 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メ モ	巡回回収場所: グリッドNo.GR-22									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	11	—	0145	2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		10:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:20	0.2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:20	0.01 m <sup>3</sup>			1
	3	1	可燃物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:20	0.01 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月19日		(月)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/11/22	2018/11/22	2018/11/22	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/19	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,14		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	フランジタンク片側板(180107)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	β有	17 mSv/h
2	フランジタンク片天板(180062)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒No. 1:Pエリア、No. 2:AAエリアへ保管。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	11	—	0146
				2018/11/26
調整後保管日時		2018年11月19日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180107)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/11/19 14:50	21 m <sup>2</sup>		180107	1
	2	1	フランジタンク片天板(180062)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/11/19 14:25	21 m <sup>2</sup>		180062	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月20日	(火)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟			2018/11/22	2018/11/22	2018/11/22			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/20	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号 158,14			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	フランジタンク片底板(180200)			①	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	フランジタンク片側板(180121)			②	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3				③	m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	11	—	0147
				2018/11/26
調整後保管日時		2018年11月20日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板(180200)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2018/11/20 15:00	21 m <sup>2</sup>		180200	1
	2	1	フランジタンク片側板(180121)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2018/11/20 15:00	21 m <sup>2</sup>		180121	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟			2018/11/22	2018/11/22	2018/11/22			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/21	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	フランジタンク片底板(180115)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	11	—	0148
				2018/11/26
調整後保管日時		2018年11月21日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板(180115)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/11/21 9:50	21 m <sup>2</sup>		180115	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	9:00	承認	審査	作成												
	作業件名	1F-14号機 SFP循環冷却設備二次系不凍液廃棄処理委託																		
	発生場所	5・6号機北西側		資材置場 不凍液固化処理ハウス		2018/11/16	2018/11/16	2018/11/15												
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2018/11/15	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-141											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	不凍液固化処理物	A						04	W	A	1.2	m <sup>3</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
メ モ	巡回回収場所:GT-19中央																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0156
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不凍液固化処理物	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:00	1.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	10:00	承認	審査	作成													
	作業件名	1F-14号機 SFP循環冷却設備二次系不凍液廃棄処理委託																		
	発生場所	5・6号機北西側	資材置場	不凍液固化処理ハウス	2018/11/16	2018/11/16	2018/11/15													
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
線量測定年月日	2018/11/15	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-141													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	不凍液固化処理物	A						04	W	A	1.2	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2											m <sup>2</sup>							
		3											m <sup>2</sup>							
		4											m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>														
巡回回収場所:GT-19中央																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0157
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不凍液固化処理物	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 10:00	1.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主 管 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア GJ32(東南)					2018/11/19	2018/11/19	2018/11/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	1F-ICWBL-7	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニル類	A	02	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
3	木材	A	03	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	可燃物その他	A	04	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	巡回回収場所: GJ-32(東南)									

受 付 番 号				2018/11/19
高2018	—	11	—	
調整後保管日時		2018年11月22日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:45	0.1 m <sup>2</sup>			1	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニル類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:45	0.3 m <sup>2</sup>			1	
3	1	木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:45	0.5 m <sup>2</sup>			1	
4	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:45	0.2 m <sup>2</sup>			1	
											m <sup>2</sup>				
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニル類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務									
	発生場所	化学分析棟(GT-27南西)						2018/11/19	2018/11/19	2018/11/19	
	作業主管G	分析評価グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/11/18	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-6	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ホリ瓶)	A	02	D	A	2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(ビニール)	A	02	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	紙・ウエス類	A	01	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	【巡回】巡回回収場所:GT-27南西 (他の車両進入がない場合、重量<3.5t車でのみ分析棟地下階屋根部へ車両進入。分析評価G殿了承。)										

受付番号			
高2018	—	11	— 0164
2018/11/19			
調整後保管日時	2018年11月22日		10:00
【保管時の指示事項等】			
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ホリ瓶) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:00	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ビニール)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:00	1 m <sup>3</sup>			1
	3	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:00	0.8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-14号機 SFP循環冷却設備二次系不凍液廃棄処理委託									
	発生場所	5・6号機北西側 資材置場 不凍液固化処理ハウス			2018/11/20	2018/11/20	2018/11/20				
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-141				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	不凍液固化処理物	A	04	W	A	1.2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	巡回回収場所:GM-10										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	11	—	0172
				2018/11/20
調整後保管日時		2018年11月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致します。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不凍液固化処理物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 9:40	1.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	フランジタンク除染作業								
	発生場所	大型機器点検建屋					2018/11/7	2018/11/7	2018/11/7	
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-86	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注:	$\alpha$ 有、 $\beta$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0147
				2018/11/7
調整後保管日時		2018年11月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	金属がら			① B 01 ② D ③ A	5 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無		
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

受 付 番 号				2018/11/14
廃2018	—	11	—	
調整後保管日時		2018年11月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載														

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	処理水パツファタンク取替設工事								
	発生場所	処理水パツファタンクエリア内(GK-19)					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	F1-ICWBL-114		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	10 m <sup>3</sup>	40 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	無		
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
メモ	10tDT×2台									

受 付 番 号			
廃2018	—	11	— 0227
2018/11/15			
調整後保管日時	2018年11月22日		12:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	9:30	承認	審査	作成					
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15					
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL						
	元請会社			担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号					
							FI-ICWBL-70					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率					
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無					
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	15 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	2						m <sup>3</sup>					
	3						m <sup>3</sup>					
	4						m <sup>3</sup>					
	5						m <sup>3</sup>					
メモ	10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0232
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受 付 番 号

高2018 11 0178

2018/11/21

調整後保管日時 2018年11月22日 11:00

【保管時の指示事項等】

発生場所にて管理票の確認。  
運搬車を配備致しますので  
保管物の詰込みをお願いします。

線量測定内容

測定日	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日 (木) 11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバー)工事							
	発生場所	各タンクエリア							
	作業主管G	建築水対策グループ	監理員	TEL					
	元請会社		担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/19	測定者		測定器名	ICWBL( $\beta + \gamma$ )	管理番号	FI-ICWBL-128	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物(木材類)	A 03	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	難燃物(ゴム類)	C 01	D B	0.4 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	難燃物(難燃シート)	C 02	D B	0.3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
4	難燃物(難燃物その他)	C 04	D B	0.3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
5				m <sup>2</sup>					
メ モ	その他塗料(固まり)有 約11 巡回回収場所: マップ記号T24 A棟休憩所(旧 事務所)								

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
			状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。